

# 異文化理解と多文化共生

## ミクロ・マクロアプローチからみる「ことば」の諸問題

2018年11月24日(土) 15:15~18:00

横浜国立大学 経営学部講義棟1号館108教室

横浜市保土ヶ谷区常盤台79-4

近年活発になっている移民・移住などの人的流動は、人口減少・高齢化・グローバル化といった現象と密接に関わっていると考えられています。

本シンポジウムでは、その関わりが持つ可能性と引き起こし得る諸問題を様々な角度から炙り出し、異文化理解と多文化共生につなげることを目指します。その中でも特に、言語使用や言語政策に焦点を絞り、複数言語が存在する家庭内の教育問題、教育現場や職場における異文化摩擦と共生の取り組みの実情、また政府の言語政策とその効果等について、各講師が報告を行います。

ミクロアプローチとしての当事者インタビューや自然談話分析からマクロアプローチとしての政策研究まで、また日本国内外の移民・移住者を対象に複合的に分析し、今後の日本社会のあるべき姿の一つを提言します。



代表者・講師 村田和代 (龍谷大学)  
「職場談話研究からの提案」

司会・講師 秦かおり (大阪大学)  
「在英邦人女性調査からの提案」

講師 山口征孝 (神戸市外国語大学)  
「日本在住カナダ人の視点からの提案」

講師 チャプル・ジュリアン (龍谷大学)  
「Suggestions from International Education」  
※チャプル講師の発表のみ英語で行われます。

